



みゅーず

第2号

藤井寺高等学校 図書委員会発行 2020/12/24



わいサントゆうねん 捨てたらあかんで？



新刊紹介

- ・カーテンコール 加納朋子
- ・口笛の上手な白雪姫 小川洋子
- ・マスカレード・ナイト 東野圭吾
- ・まことの華姫 畠中恵
- ・ホワイトラビット 伊坂幸太郎
- ・流浪の月 凧良ゆう
- ・東京 コロナ禍。 初沢亜利
- ・仕事本
- ・ハジメテヒラク こまつあやこ
- ・線は、僕を描く 砥上裕將
- ・あきない世傳 金と銀 九 淵泉篇 高田郁
- ・Fukushima50 (フクシマフィフティ) 門田隆将

図書委員の紹介本

『ひよこの眼』 山田詠美

このお話は短編集「晩年の子供」に収録されており、現在二年生の教科書にも載っています。

友人に勧められて読んでみましたが、恋と死の切なくて素敵なお話だと思いました。あらすじは中学三年生の時不思議な眼をした男の子が転校してきました。しかし、「私」にはその眼が懐かしく感じられました。それが何故なのか、彼のその眼は何を見ているのかを解明するため、無意識のうちに彼のことを見つめるようになりました。それを見たクラスメイトに、彼のことが好きなんじゃないかと言われるも否定もできない気持ちになってしまいます。ある日…

続きは読んでみてください！



先生のおすすめ本

今回は保健室の富山先生です！

「彼女のこんだて帖」 著者 角田光代

「美味しい」は、心も体も恋（しあわせ）も育てる。生きることは食べること。失恋したから食べるご飯、受験生のごはん、長年連れ添う夫婦のごはん・・・

誰かと一緒に食べるご飯、誰かのことを思って作る料理。何気ない毎日を彩ってくれる食を通して、人の温かさや誰かの思いに向き合うことの大切さを思い起こさせてくれる作品。

14の料理にまつわる話が詰まった短編集です。前の脇役が次の話の主人公になるというリレー形式の連短編集で、読むうちにどんどん引き込まれていきます。

巻末に、それぞれの話で登場する料理のレシピが載っているので、料理好きの方にもおすすめの一冊です。

一つひとつの話が短いので（10～15ページ程度）、読書が苦手な方でも読みやすいと思います。ぜひ一度、手に取ってみてください。

